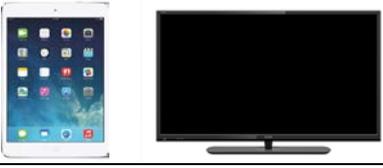


教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度
		風邪の予防の意義と方法を学ぶ
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	風邪の予防をしよう
	授業の目標	・手の汚れの状態を見て、丁寧に手を洗うことができる。 ・風邪の予防のために、マスクを着用することができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	■「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 ■「思考・判断・表現」 ■「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他( )
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	■特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 ■小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 第6学年 5人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 ■知的障害 ■肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 ■自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) ■ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する ■推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 ■多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション ■覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・手を洗うことが雑であったり、マスクの着用を嫌がったりする児童がいる。 ・手洗いやマスク着用の理由を理解している児童は少ない。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad(アプリ:keynote、カメラ)</li> <li>・テレビ</li> </ul> 
	活用のねらい	<p>Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/>A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/>A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(■B1情報入手支援 <input type="checkbox"/>B2機器操作支援 <input type="checkbox"/>B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/>C1教科学習支援 <input type="checkbox"/>C2認知発達支援 <input type="checkbox"/>C3社会生活支援)</p> <p>・視覚的な教材を使用することにより、マスク着用の大切さを理解する。 ・手洗いチェッカーを用いるとともに、ブラックライトで照らすことにより、手の汚れを視覚的に確認する。 ・iPadを拡大鏡の代わりに用いて、手洗いの方法について考える機会をつくり、手洗いの重要性を考える。</p>
授業に授業展開支援	<p>授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時の学習内容の説明をする。 ・昨年度の学級内の風邪の状況を知る。</li> <li>2 昨年度の学級内の風邪の状況を振り返る。 ・風邪を引いたときはどのような様子であったか、思い出して発表する。 (熱、寒い、お腹が痛い、薬を飲むなど)</li> <li>3 マスクを着用することの意味を知る。 ・くしゃみや咳についての話を聞く。</li> <li>4 手洗いについて知る。 ・手洗いについての話を聞く。 ・手洗いチェッカーをつけ、手を洗ったあと、ブラックライトで手の汚れを確認する。 ・きれいな手の洗い方を理解し、もう一度、手の洗い方を確認する。</li> </ol>
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いの重要性を理解することにより、丁寧に手を洗う児童が増えた。</li> <li>・マスク着用の重要性を理解することにより、マスクを着用する意味を理解することができた。</li> <li>・iPadを用いて視覚的に確認することにより、手やドアノブの汚れなどに注目することができた。</li> </ul>